

地球温暖化による自然災害に適応するためには



箕面川ダム

今年の夏の気温は、平年と比べて2.36度高く、3年連続で最も暑い夏となりました。この危険な高温の背景には、地球温暖化の影響による日本近海の海水温の上昇や偏西風の北への蛇行などがあると言われています。

これ以上、地球温暖化が進まないよう、温室効果ガスの排出を減らしたり、森林を増やすなどの緩和策が重要です。

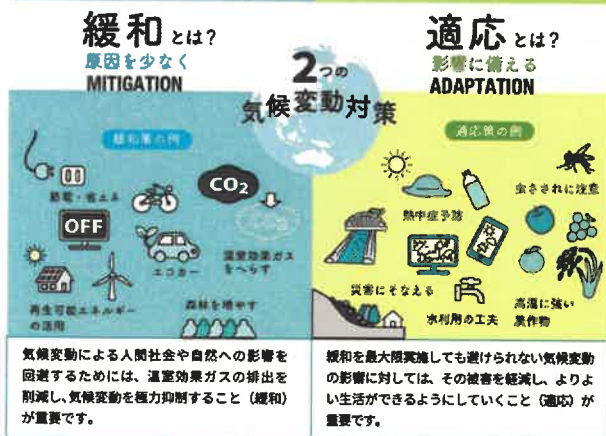
あわせて、近い将来に、発生することから逃れることができない自然災害にたいして、事前に準備し、被害を和らげ、災害にそなえ、適応していくことも重要です。

ダムやため池などの治水能力を上回る短時間強雨の発生、土石流や地滑りなどの山地災害の発生、防災行動に時間がないほどの突発的・局所的な大雨などの災害が、近い将来に発生する恐れがあります。

これらの自然災害に適応していくためには、洪水調整施設や河川の堤防、下水道などの整備、森林整備による水源涵養や土砂流出の防止など森林が持つ機能の向上、ハザードマップによるリスクの確認と準備などが重要です。

また、地球温暖化による自然生態系への影響として、種の分布の変化や絶滅の恐れのある種の増加が危惧されており、野生生物のモニタリングや優れた自然環境や緑地環境の保全を進めていく必要があるのではないのでしょうか。

←2つの気候変動対策は、大阪府のホームページから引用



実りの秋、植物たちの生存戦略

自分では移動出来ない植物。次世代の仲間を増やすために、種を遠くに運ぶためにいろいろな工夫をしています。自分ではじける種、風に運んでもらう種、動物に運んでもらう種、果肉を付けて鳥に遠くに運んでもらう種など。植物たちは、まわりの環境や生き物と関係しながら、生存のための戦略を選択しています。

さまざまな種を観察出来る秋です。山を歩きながら、植物たちの生存戦略を感じてみませんか。



ゲンショウコ



テイカカズラ



オオナモミ



コマユミ



ハダカホオズキ



ムラサキシキブ



ゴンズイ



アオツツラフジウ



タンキリマメ



イヌザンショウ

オオサンショウウオを見つけたときは・・・！

みのお山麓保全委員会では、とくに夏場、箕面川で水遊びなどをしていてオオサンショウウオを見つけたという、情報をいただくことがあります。箕面川のオオサンショウウオは、特別天然記念物に指定されており、約200頭生息しています。多くの個体の細胞を調べて固有種であることを確認したり、個体にICチップを埋め込んだりして調査や管理をしています。今のところ箕面川では、すべて固有種で外来種および混血種は確認されていませんが、もし箕面川に外来種や混血種が持ち込まれると、箕面川の生物多様性が失われてしまいます。

下流で見つけた場合でも、かわいそうだと思います、上流に放すと大変なことになります。絶対に個人の判断で行わないようにしてください。万一、オオサンショウウオの死骸を見つけた場合は、写真を撮っていただき、場所等を確認し、箕面市担当室または山麓委員会まで連絡してください。



箕面市ホームページより

↓ 箕面市のホームページに「オオサンショウウオを見つけた時の対応」が掲載されています。

> よくある質問 > くらし・環境 > ペット・動物 > 更新日: 2025年8月1日

<質問> オオサンショウウオを見つけました。市に知らせた方がよいのですか？

<回答> オオサンショウウオは、見つけても触らないで静かに見守ってください。基本的に連絡は不要です。ただし、衰弱し保護する必要があると認められる個体や死骸を発見した場合は、天然記念物室（072-724-6742）にご連絡ください。

オオサンショウウオは、特別天然記念物に指定されており、触ったり動かしたりすることは禁止されています。また、オオサンショウウオは肉食で獰猛です。鋭い歯で怪我をする恐れもあります。近年では、特に箕面川における目撃情報が寄せられておりますのでご注意ください。

本市のように大都市近郊でオオサンショウウオが生息していることは非常に珍しく、豊かな自然環境が守られているあかしでもあります。オオサンショウウオが自然に暮らせるようご協力をお願いします。

10月13日(祝)、生物多様性研究フォーラムで、箕面川などに生息するオオサンショウウオの生態などについて専門家による講演があります。ぜひご参加を！（詳細は次ページに記載）

「みのお山麓保全活動助成金」活動報告会を行いました。

6月29日、2024年度に助成金を受けて活動した、全18の市民団体による活動報告会が、かやの中央・市民活動センターで行われました。発表を行った市民団体は、以下のとおり(発表順)。

①箕面だんだんクラブ ②杜の会 ③箕面の森のきこり隊 ④みのおフォレストーズ ⑤とんど山桜園の会
⑥箕面の山パトロール隊 ⑦かやの中央まち育て交流会 ⑧みのおの森のふれあい広場運営委員会 ⑨箕面の森の音楽会実行委員会 ⑩箕面生物多様性会議(生きもの会議) ⑪箕面ナチュラリストクラブ ⑫外院の杜クラブ ⑬箕面森遊びの会 ⑭Minoh Architecture Project(MAP) ⑮しおんじ山の会 ⑯箕面マウンテンバイク友の会 ⑰中高大連携森林学習プロジェクト ⑱みのおエコクラブ

各団体の代表者が、活動の成果を中心にパワーポイントを使って説明。参加者との質疑応答に続いて、助成金審査会の増田会長(大阪府立大学名誉教授)と須貝委員(特活・市民活動フォーラムみのお理事長)から総評がありました。

増田会長からは、「書類では分からない、みなさんの熱意が伝わってきた。全体を通して意義深い報告会だった」と述べられたあと、「山の保全といっても、森林整備だけではなく、『まんどろ火祭り』や『とんど山のめんぎょ』などいわゆる里山の文化を守ること、あるいは、音楽会、子どもたちの自然体験などのような、多様な切り口で活動が行われている。まず、参加者が「楽しむ」ということが、活動継続の力になる」。

また、「成果」とは何かを考えると、単に活動を行ったというのではなく、例えば、子どもたちと自然体験を行いました・・・というのであれば、それによって、子どもたちの考えや行動はどう変化しかた？を検証するのが、「成果」であって、アンケートなど活動に対する『効果測定』をちゃんと行うことが必要だ」。

須貝委員は、「複数の団体がコラボレーションすることで活動の幅がもっと広がり、新たな面白い取り組みできる可能性がある。こうした報告会や交流会を通じて、「チーム力」や「協力」といった意識も重要だ」と述べられました。



報告会の様子



審査委員の総評

みのお山とみどりのフェスティバル2025を開催します。

第1幕 生物多様性研究フォーラム

★ 箕面の森の天然記念物～オオサンショウウオとニホンザルの生息地～

箕面には特別天然記念物に指定されている「オオサンショウウオ」が生息しており、大都市近郊にも関わらずニホンザルが生息できる「箕面山のサル生息地」が天然記念物に指定されています。オオサンショウウオやニホンザルの生息状況、保護管理事業などを知るとともに箕面の森の現状についての理解を深めて、持続可能な森づくりと一緒に考えましょう！

○日時：10月13日（祝）13:30～16:00 ○場所：船場生涯学習センター6階多目的室

※電車・箕面船場阪大前駅下車 徒歩約3分 ○主催：箕面市・NPO法人みのお山麓保全委員会 ○後援：明治の森箕面自然休養林管理運営協議会 ○事前申込必要：先着定員80名、申し込みは山麓委員会HP・申込フォームまたはFAXで。参加費無料

【講演】

■特別天然記念物「オオサンショウウオ」の生態と保護管理について～箕面川・余野川水系の生息地やオオサンショウウオの生活史の紹介～

一般社団法人 兵庫県自然保護協会 理事 大沼 弘一 氏

【講演】

■天然記念物「箕面山のサル生息地」の自然の今昔

～箕面山ニホンザル保護管理事業における生息地の植生管理計画にたずさわって～
（認定NPO法人）大阪自然史センター 理事長・箕面山ニホンザル保護管理委員会 委員 梅原 徹 氏

【質疑応答】 NPO法人みのお山麓保全委員会 事務局 高島 文明



第2幕 体験フェア

○日時：11月3日（祝）10:30～15:30 ○場所：瀧安寺前広場、阪急箕面駅前ステージなど ※雨天中止



昨年の「体験フェア」の様子

箕面の山のみどりとまちのみどりを守り、育て、活かす！をテーマに、ご家族で楽しんでいただける企画がいっぱいです。

- 家族で楽しむ工作・体験コーナー・・・《工作》木の切れはしなど自然素材を使った工作、キーチェーン・バードコールづくり、滝ノ道ゆずるのシオリづくりほか
- 《体験》竹てっぽう、ヒノキのきこり、瀧安寺ミニガイド、ハンモック体験ほか
- 山のみどりを守る活動紹介・・・里山の手入れ、箕面の植物や生き物の紹介ほか
- ステージでの紙芝居、演奏・・・紙芝居「雨水の冒険」、「箕面の森の音楽会」ほか
- まちのみどりを守る活動・・・阪急駅前ステージでの竹トンボづくりほか

市民ボランティア団体が箕面川の清掃活動でコラボレーション。

7月20日（日）と8月24日（日）、市民ボランティア団体の箕面の山パトロール隊と、トレラン仲間で箕面の山や川の清掃活動を行っているMAP(Minoh Architecture Project)が協力して、箕面川の清掃活動を行いました。

7月20日の活動では両団体から計15名が参加して、箕面川に架かる徳尾橋(箕面1丁目)から上流方向に大江戸温泉橋まで区間の川の中や河川敷を清掃。8月24日には、計13人が参加し、徳尾橋から下流に向かって、北川原公園(箕面6丁目)の周辺まで、川の中などのゴミの収集を行いました。

今回の箕面川の清掃活動は、MAPの企画に箕面の山パトロール隊が賛同する形でコラボが実現。参加者はやぶ蚊と丈の長い草むらに苦闘しながら、空き缶、空き瓶、ペットボトルなどの一般ゴミのほか、塩ビパイプやバイクのフレームを川に中などから拾い上げました。ゴミの重量は、7月20日が50kg、8月24日が44kgと、およそ100キロに上りました。



7月20日のコラボ清掃活動



こうしたボランティア団体のコラボレーションは、より多くの人の参加が期待できるとともに、新しい仲間づくりや団体間の信頼関係の構築により、活動範囲が広がります。

みのお山麓委員会は、箕面の山パトロール隊やMAPなどのこうした保全活動を支援しています。



8月24日のコラボ清掃活動



みのお山麓保全活動助成 2025年後期（8月期）の助成が決定。

みのお山麓保全活動助成金は、四季折々に美しい箕面のみどり豊かな山麓を守り・育て・活かすために、みのお山麓保全委員会が、箕面市から補助金を受けて、山林所有者や市民の保全活動に助成する仕組みです。

毎年、2月期（前期）および8月期（後期）に助成金申請を受付、このたび2025年度後期（8月期）助成が決定しました。

2025年後期（8月期）助成の概要

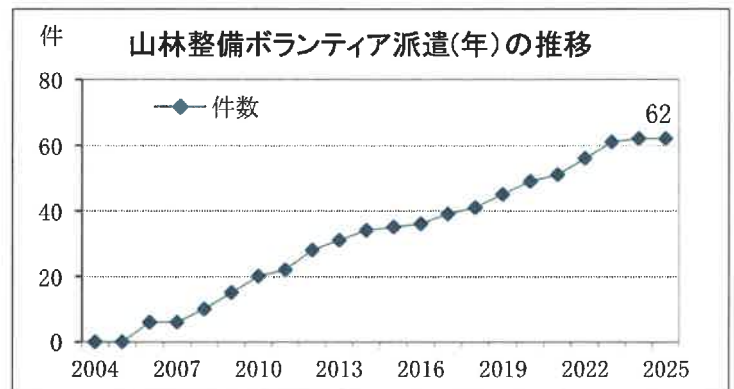
■山林所有者への助成（自然緑地等指定同意書提出）の活動を助成

助成件数・・・19件 筆数・・・65筆 面積・・・122,533㎡ 金額・・・2,074,300円

うち、新規自然緑地同意 2件 面積10,015㎡ 山林整備ボランティア派遣要請 11件

◇2025年度（年間）の状況：助成件数 91件（前年比 +1件） 助成金額 9,675,800円（同 +427,000円）

新規自然緑地同意 2件（同 +2件） 山林整備ボランティア派遣要請 62件（同 ±0件）



■市民団体等の活動を助成

助成件数・・・3件 金額・・・254,000円 うち、新規申請 1件

活動団体名	保全活動名	金額
01 箕面森遊びの会	自然の豊かさに気づき、大切にするための自然体験活動	23,000 円
02 中高大連携森林学習プロジェクト	森林保全パンフレット作成、配布による啓発活動など	74,000 円
03 あお人と自然をつなぐ会（新規）	栗生間谷山すそ地域で自然とのふれあい活動および整備活動	157,000 円

◇2025年度（年間）の状況：助成件数19件（前年比+1件） 助成金額 2,041,000（同 +70,000円）

「箕面の森の守りびと」募金にご協力をお願いします。

みのお山麓保全委員会は、山林所有者や市民・団体が行う保全活動の助成や相談・受付を行っているほか、山林整備を担うための人材育成、行政や市民団体をつなぎ、協働の仕組みで課題解決を図るネットワーク作りなどを行っています。

ぜひ活動にご賛同いただき、「箕面の森の守りびと」（みのお山麓保全委員会のサポート会員/ニュースレターを年4回お届けします）として、募金にご協力ください。なお、募金の際は、下記の①②のいずれかをご指定ください。

① 「NPO法人みのお山麓保全委員会」への寄付

用途を限定せずに、箕面の山間・山麓部の保全活動に活用させていただきます。

② 「箕面の山災害復興募金」への寄付

2018年に台風被害を受けた「こもれびの森（箕面市有林）」を中心とした植樹活動や増えすぎたシカの食害から苗木を守る活動に目的を限定した災害復興募金です。

募金口座：郵便振替・00930-3-242244 口座名：NPO法人みのお山麓保全委員会
※他行から振込みされる場合は、ゆうちょ銀行 店番099 当座 口座番号 0242244



NPO法人 みのお山麓保全委員会

〒562-0001箕面市箕面1-2-6 箕面駅前ビル301号室

電話&FAX:072-724-3615 携帯電話:090-8926-3615

メール:yama-nami@yama-nami.net

ホームページ: <https://yama-nami.net> (検索: 山なみネット)

* 箕面の山麓保全情報のポータルサイト「みのお山なみネット」

